

厚労省は定期 HPV ワクチン接種の勧奨中止を 2013 年から約 9 年間も続けました。このために、日本の多くの若い女性が安全性、有効性の高いワクチンをふつうに受ける機会を失い、子宮頸がんの罹患リスクに晒されることになりました。ようやくにして 2022 年 4 月から接種もれの女性を対象に、公費による無料接種が開始されます。

1. キャッチアップ接種事業の実施期間：  
2022 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
2. 対象となる方：  
1997 年 4 月 2 日～2006 年 4 月 1 日生まれ：2022 年 4 月 1 日より受付け  
2006 年 4 月 2 日～2007 年 4 月 1 日生まれ：2023 年 4 月 1 日より受付け  
2007 年 4 月 2 日～2008 年 4 月 1 日生まれ：2024 年 4 月 1 日より受付け
3. 予診票の入手方法：  
2022 年 4 月以降、対象者のいる各戸に文京区から順次送付されるほか、当院受付にも 4 月 1 日から用意されます。
4. 予約方法：  
当院インターネット予約システムを用いた通常予約
5. 接種ワクチンの選択：  
スケジュール完了には計 3 回の接種を済ませることが必要です。この 3 回とも 2 価（サーバリックス®）または 4 価（ガーダシル®）ワクチンの「いずれか同じ種類を選ぶ」というのが厚労省の方針です。
  - ① これまで HPV ワクチンを受けたことがない方：  
4 価ワクチンで開始し、3 回接種で完了する\*
  - ② 過去に HPV ワクチンを 1 または 2 回受けたがその後中断している方：  
接種当日は、過去の接種記録（母子手帳など）を必ずお持ち下さい。
    - i. 接種済みワクチンが 4 価ワクチンの場合：  
済んだ回の次の回からを 4 価ワクチンで開始し全体 3 回で完了する
    - ii. 接種済みワクチンが 2 価ワクチンの場合：  
済んだ回の次の回からを 2 価ワクチンで開始し全体 3 回で完了する

\* 標準は 0, 2, 6 ヶ月の時点で接種する。1 回目と 2 回目は最低 1 ヶ月、2 回目と 3 回目は最低 3 ヶ月、1 回目と 3 回目は最低 5 ヶ月の間隔を空ける。